

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	堅牢な分子識別センサエレクトロニクスの学術基盤創成
研究代表者	柳田 剛 (九州大学・先導物質化学研究所・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>従来、サイバー空間とフィジカル空間とをつなぐセンサーとして「物理センサー」が主流を占めている中において、本研究は、堅牢なワンチップ分子識別デバイス（「化学センサー」）を金属酸化物ナノワイヤ界面形成技術から実現しようとするものであり、高い独創性と学術的意義が認められる。</p> <p>また、応募者は、高い分子分析技術を有する研究組織を構成しており、1024個の集積化センサーアレイによる大幅な識別感度の向上を目指すなど、本研究を推進することによって大きな研究成果を期待することができる。</p>